

DRIVER

DRIVER | FAIRWAY WOOD | UTILITY | IRON | SHAFT OTHERS

S-Y-B
GOLF
CATALOGUE
2009

EGNAHC III エグナックIII SLEルール適合

球が上がらない! 飛距離を諦めていたというゴルファーに。



【ヘッドスピードが上がらない、打ち出し角が低い】

- 大投影面積がアドレス時に安心感を演出。
- 大投影面積ながらフェース厚48mmのシャローフェイスがビックキャリーを生む最適打ち出し角をもたらします。
- EGNAHC IIに比べ、400~500gr・cm²大きくなった慣性モーメントが方向安定性もUP。ミスヒットにさらに強くなりました。



ヘッド仕様	ロフト角 (±1)	ライ角 (±1)	フェース角 (±1)	重量 (gr)	重心高さ (GH-1/mm)	重心高さ (GH-2/mm)	重心距離 (mm)	重心角度 (deg)	重心深度 (mm)	慣性モーメント (gr・cm ²)	体積 (ml)
#1	11.5°	59.5	+1	187	29	19	38	23	36.4	3.831	430
	13°	59.5	+1	187	29.5	18.5	38.5	23	37	3.913	430

専用シャフト TEN NINES GDB-55(R1)

手元剛性を高めた弾き系シャフト。ヘッドスピード40m/Sに満たないプレーヤー用にFLEXを設定、EGNAHC IIIのヘッドポテンシャルを最大限に引き出しビックキャリー&ランで飛距離を伸ばします。

シャフト仕様	重量 (gr)	トルク (deg)	キックポイント (%)	バランスポイント (%)	Tip径 (Φm/m)	Butt径 (Φm/m)	フレックス
	52	4.8	40.6	52.6	8.5	15.1	R1

専用シャフト グラファイトデザイン Tour AD SL-5

シャフト全体の素早いしなり戻りにより、しっかり感としなり感を両立。“やさしく振ってかるく飛ばせる”軽さを越えた振りやすさを実現しました。

シャフト仕様	重量 (gr)	トルク (deg)	キックポイント	Tip径 / パラレル長 (Φm/m) (mm)	Butt径 (Φm/m)	フレックス
	57	5.8	先調子	8.5 60	15.15	R2
	58	5.8	先調子	8.5 60	15.20	R1
	59	5.8	先調子	8.5 60	15.20	SR

※グラファイトデザイン Tour AD SL-4もお選びいただけます。

Head : made in china, Shaft : made in japan, Assembled in japan

■エグナックIII 価格:1本¥67,200(税込) フェース/P-1チタン ボディー/6Al-4Vチタン ※価格はメーカー希望小売価格です。
◆シャフトをTour AD SL-5(R1・R2)にした場合の価格:1本¥67,200(税込)

ウッド・アイアンクラブの基礎講座

BASIC LESSON for WOOD&IRON

最適なクラブ選びの一助となるよう、クラブの基本用語をご紹介します。

WOOD ウッドクラブ各部の主な名称と測定方法

■ロフト角(リアルロフト)

ライ角を合わせてシャフトを地面に対して垂直に固定し、フェース角が0度になるようにセット。シャフトの軸線に対するフェースの上向き角度を測ります。

■フェース角

アドレス時、目標に対するフェース面の向きを表す角度。ライ角を合わせ、シャフトを地面に対して垂直に固定し、ソールを地面に接地させて測定します。0度ならスクエアフェース、-ならスライスフェース、+ならフックフェース。

■フェースプログレッション

フェース角を0度にした時のシャフト中心線の延長線とリーディングエッジまでの水平距離。数値が小さいほどボールが掴まりやすく、大きいほどボールが上がりやすくなります。

■GH-1

フェース面上の重心位置からリーディングエッジまでの距離。

■GH-2

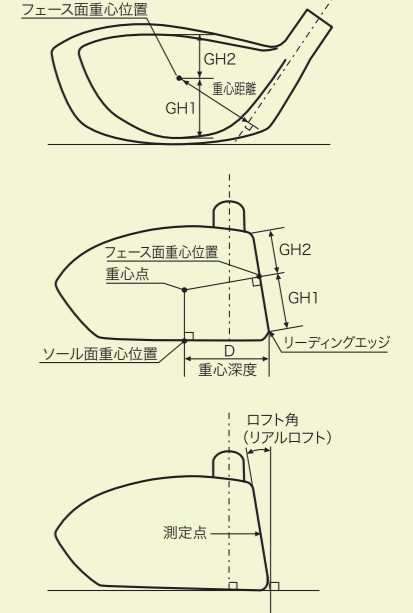
フェース面上の重心位置からフェース上端までの長さ有効打点距離。GH2が長いと打ち出されたボールのスピニング量は少なくなり、短いとボールのスピニング量は多くなる。一般的には、飛距離を求めるならGH-2が長めの低重心モデル、安定性を求めるならGH-2が短めで重心高めのモデルがよいとされます。

■重心深度

リーディングエッジからヘッド重心までの長さ。一般的には深いほどスイートエリアが広がります。またインパクトロフトが多くなり、打ち出し角も高くなります。

■重心距離

ヘッドの重心からシャフトの中心線までの垂直距離。長いほどインパクト時のスピードはアップしますが、シャフト軸を中心とした慣性モーメントが大きくなるため、ヘッドは返りにくくなります。



IRON アイアンクラブ各部の主な名称と測定方法

■重心高さ

クラブヘッドの重心の位置。アイアンは重心が高いほどボールが上がりやすく、スピニングがかりやすくなります。逆に重心が高いほど打ち出し高さは低くなり、スピニングがかりにくくなります。

■重心距離

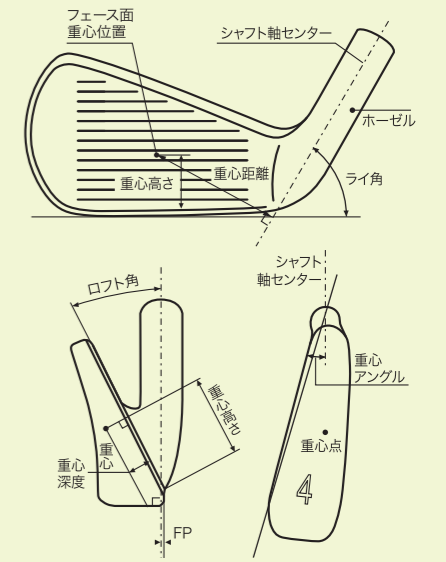
フェース面からヘッド重心までの長さ。一般的には深いほどスイートエリアが広がります。またヘッドの縦方向の慣性モーメントが大きくなるため、インパクトロフトが安定し、ボールが上がりやすくなります。

■重心角度

シャフト中心線の延長と、ヘッド重心との間にできる角度。数値が大きいほどインパクトでフェースが返りやすいため、ボールを掴まえやすくなります。

■重心距離

ヘッドの重心からシャフトの中心線までの垂直距離。短いものはフェースが返りやすく、操作性に富みます。長いものはリストワークが使いづらいですが、スイング軌道は安定しやすく、スピニング量が増えるためボールは上がりやすく、かつ止まりやすくなります。



重心高さ(mm)

	#3	#5	#7	#9
FC-900 Tour	19.7	21.0	21.8	22.4
FC-822	20.7	21.5	22.4	24.0
MC-700	17.9	18.6	20.5	20.9
BM-565	16.7	18.3	19.1	19.4
BM-500	17.7	17.9	19.1	20.0
FT-300	-	17.0	18.1	19.5

重心距離(mm)

	#3	#5	#7	#9
FC-900 Tour	36.0	35.5	35.2	34.2
FC-822	36.4	34.7	33.8	32.9
MC-700	38.8	38.4	38.3	37.3
BM-565	38.5	38.3	37.7	37.3
BM-500	39.8	38.7	38.4	37.2
FT-300	-	39.4	38.5	37.5

重心角度(deg)

	#3	#5	#7	#9
FC-900 Tour	9.4	11.1	13.9	16.6
FC-822	10.5	12.3	15.5	18.5
MC-700	12.7	12.8	14.3	15.9
BM-565	12.2	13.0	14.5	15.2
BM-500	11.7	12.7	14.4	16.3
FT-300	-	12.9	14.1	16.4

重心深度(mm)

	#3	#5	#7	#9
FC-900 Tour	3.9	3.0	1.6	0.8
FC-822	3.8	2.8	2.4	1.7
MC-700	6.8	5.4	4.7	2.9
BM-565	5.3	4.6	3.6	2.5
BM-500	6.4	5.7	4.8	2.7
FT-300	-	5.5	4.2	3.1